

別添資料

中学校社会科歴史的分野における学習者の課題意識に基づく学習の充実に向けた研究

— 歴史的分野と公民的分野の連続性に焦点を当てた単元の開発を通して —

尾道市立瀬戸田中学校

加藤 寛崇

別添資料 2 学習者の課題意識に基づく学習ガイドブック

令和6年度教員長期研修

「正直まじでつまらない」授業を乗り越える！ 学習者の課題意識に基づく学習ガイドブック

— 中学校社会科歴史的分野「C近現代の日本と世界(2)現代の日本と世界イ(ウ)」の事例 —

尾道市立瀬戸田中学校

教諭 加藤 寛崇

本書について

本書のタイトルとなった「正直まじでつまらない」授業とは、教師が課題を設定し、解決の道筋を示し、説明するといった教師主導の授業のことです。「正直まじでつまらない」は、令和6年度教員長期研修における「中学校社会科歴史的分野における学習者の課題意識に基づく学習の充実に向けた研究―歴史的分野と公民的分野の連続性に焦点を当てた単元の開発を通して―」の実践後に、従来の授業に対して生徒から寄せられた言葉です。この言葉を読んで、多くの先生方が筆者と同じように「生徒に申し訳ないな」「生徒主導の授業に変えたいな」と思っておられることと思います。

本書では、先述の実践を通して見えてきた成果と課題を踏まえて、中学校社会科歴史的分野「C近現代の日本と世界(2)現代の日本と世界イ(り)」の単元開発を行っています。筆者の授業実践を振り返った時、授業の進度や公民的分野と取り扱う社会的事象が重なることなどを理由に、本単元の指導がおろそかになっていたというのが正直なところです。しかしながら、本単元は中学校社会科歴史的分野と公民的分野を繋ぐことが求められる単元であり、また、歴史的分野で唯一「構想する」ことが求められる単元でもあり、中学校社会科の指導において非常に重要な単元です。本単元の指導を充実させることで生徒に公民的分野の学習の必要性に気付かせることができれば、公民的分野の学習も充実したものになっていくと思われます。本単元の指導に悩まれている先生方の参考になれば幸いです。

また、本書では学習者の課題意識に基づく学習の充実と、探究的な学習過程であると考えられる「追究したり解決したりする活動」を充実させるための具体的な手立てを提案しています。指導の工夫の根拠とした理論等は研究論文に示していますので、そちらをご覧ください。本来であれば本単元の指導までに探究的な学習過程を充実させ、生徒が探究的に学ぶ経験を積んでいるのが望ましいですが、筆者自身が初めて本格的に探究的な学習を実践したため、本書では本単元で初めて探究的な学習を実践することを想定した指導計画となっています。本単元の指導に限らず、探究的な学習に挑戦される先生方への助けになるように詳細に記述するよう努めました。

最後に、本書で行った提案が「正直まじでつまらない」授業を乗り越えるための一つの授業のあり方を示すことができるかどうかを示すために、研究授業を通じた生徒の姿や生徒の声をできる限り掲載するようにしました。きっと生徒主導の授業をつくろうとする先生方の挑戦を後押ししてくれると考えています。本書が「正直まじでつまらない」授業を乗り越えるための授業改善の助けになれば幸いです。

令和6年9月

尾道市立瀬戸田中学校

教諭 加藤 寛崇

目次

本書について、目次	1
1 「C近現代の日本と世界(2)現代の日本と世界イ(り)」の指導計画	
(1) 単元の指導計画	2
(2) ルーブリック・予定表	9
2 「C近現代の日本と世界(2)現代の日本と世界イ(り)」の研究授業の記録	13

1 「C近現代の日本と世界(2)現代の日本と世界イ(ウ)」の指導計画

(1)単元の指導計画

指導計画ではクロームブックを活用しています。

時	学習活動	指導上の留意点 (○) 予想される生徒の反応 (・)	学習活動及び指導 の意図やさらなる 工夫等 (◇)
年度 始め		○広島県立図書館の学校支援サービス、または、各市町の図書館 の団体貸出等のサービスの利用登録申請を行う。 ○書籍の運送料を計画的に予算に組み込んでおく。	◇詳細は各図書館 のHPを参照さ れたい。
事前 1 4 月 ～ 5 月	1. 現代の社会に 見られる諸課題 について調べ る。 2. その中から興 味・関心がある ものを2～3個 選び、調査する。	○現代の社会に見られる諸課題にはどのようなものがあるのか インターネットや学校の図書室の書籍を利用して調べさせる。 ○現代の社会に見られる諸課題の中から興味・関心があるものを 2～3個選ばせ、調査させる。現代の社会に見られる課題の現 状や原因、影響などについて簡単に説明させる。 ○クラスルームにおいてブランクのドキュメントを各生徒に配 付し、調査した内容と URL、書籍のタイトル等をメモさせて おく。この後の学習で引き続き活用させる。	◇2～4人でのグ ループ活動を予 定しているため 2～3個調査さ せ、グループを 決める際できる だけ課題意識を もったテーマを 扱うことができ るようにする。 ◇生徒が探究的な 学習過程に慣れ ている場合は個 人の活動として もよい。 ◇集計作業及びグ ループ編成を円 滑にするため。
	例1 物価高騰 ・現在の日本は、戦争の影響を受けてエネルギーの価格が高くなっていることと、 円安というものの影響を受けて、物価が高くなっていると分かった。そのために生 活が苦しくなっている人たちがいることも分かった。		
	例2 核兵器 ・ロシアのウクライナ侵攻で核兵器使用の危機が高まっているように思う。核兵器 は推定12,520発(2023年6月)が現存しており、「現役核弾頭」の数は近年増 加傾向にある。		
	3. 今後追究して みたいテーマに ついてアンケ ートに回答する。	○机間指導しながら、現代の社会に見られる諸課題のうち、「核 兵器」「戦争」「感染症」「物価高」など、生徒が共通して興味・ 関心をもっているテーマをキーワードとして板書する。次の事 前アンケートでは、キーワードに当てはまるテーマは板書した キーワード通りに回答させる。キーワードに当てはまらないテ ーマは各自考えて回答させる。 ○事前アンケート項目 (Google forms) (1)あなたが調査した現代の社会に見られる諸課題は何です か。現時点で興味・関心が強い順に教えてください。 ・核兵器、戦争 ・選挙妨害、物価高騰	

事前 2		○アンケート結果を基に興味・関心が共通する2～4人（可能な限り4人が望ましい）のグループを編成する。最も興味・関心の強いテーマにならない場合もあるが、探究的な学習に慣れるためであると説明する。 ○広島県立図書館、または、各市町の図書館のレファレンス及び学校支援サービス（団体貸出等のサービス）を活用し、生徒が情報収集するための書籍を準備する。	◇指導に不安がある場合、教師自身がある程度追究の見通しが立つテーマのみに絞ってもよい。 ◇詳細は各図書館のHPを参照されたい。
1	1. 本時の学習の見通しをもつ。	○事前アンケートの結果を紹介し、現代の社会にはどのような課題が見られるか確認する。 ○18歳意識調査「第46回 -国や社会に対する意識（6カ国調査）-」報告書（日本財団2022）では、「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」という項目の肯定的回答の割合が26.9%と低くなっていることを紹介する。 ○現代の社会には多くの課題が見られるにも関わらず、上記のような結果となっていることについてどう考えるかと発問する。 ・自分も「自分の行動で、国や社会を変えられる」とは思えないので共感する。 ・このままでは現代の社会に見られる課題は解決できない。 ○このような現状を変えていくためには、現代の社会に見られる課題について、追究し、理解を深めていくことがまず大切であることを伝え、単元を貫く課題を提示する。	◇1時間目から5時間目までの計画は生徒の様子を見ながら時間を調整する。
		【単元を貫く課題】 現代の社会に見られる課題を解明し、歴史から学ぶことで解決に向けたアイデアを考え出そう。 ○現在行われている解決策を調べる活動ではなく、歴史的分野の探究的な学習として、歴史的事象から学ぶことで解決に向けたアイデアを考え出すこと活動であることを確認する。探究する力が求められていることや、探究的な学習は根拠を示しながら自分なりの答えを考え出していく活動であることを説明する。 ○夏休みのレポート課題までの本単元の学習の流れとループリックを基にした学習の進め方について説明する。ループリックを配付する。ループリックは自身の活動をよりよくするためのものであることを伝える。 ○グループ編成とテーマを伝え、本時のめあてを提示する。	◇本単元までにも繰り返し探究的な学習の意義や考え方を伝えておくもよい。
	2. テーマについて解明する。	めあて：グループでテーマについて解明、具体化し、問いを立てよう。 ○歴史的な見方・考え方を提示する。学習指導要領に示された歴史的な見方・考え方を原因、推移、比較等、生徒に分かりやすく活用しやすい表現にして提示する。	◇歴史的分野の学習の始めから歴史的な見方・考え方を提示し、

		生徒がそれらを働かせられるようになっているとよい。
	○歴史的な見方・考え方を働かせた問いの例を提示する。	
	歴史的な見方・考え方を働かせた問いの例 ○その課題は歴史のどこに原因があるのだろう。 ○同様の課題が見られたとき、歴史の中ではどのような解決策がとられたのだろう。 そして、その結果はどうなったのだろう。 ○課題の解決に向けて、歴史から学ぶことはどのようなことなのだろう。	
3. テーマを具体化し、問いを立てる。	○全ての歴史的な見方・考え方を働かせなければいけないわけではないことを確認する。 ○グループで、事前1で調査したことを交流させる。不足があればさらに情報収集し、テーマについて説明させる。収集した情報は事前1で配付したドキュメントにメモさせる。 ○時間の制約があるため、テーマを具体化する必要があることと、そのためには「何を解決として捉えるか」と「何を課題と捉えるか」ということを明確にするとよいことを説明し、具体化の例を示す。	◇欠席の際、ドキュメントのメモが役立つ。
	テーマの具体化の例 感染症 ○「感染症を世界で流行させないこと」を解決と捉える場合 「過去の感染症拡大の原因はどのようなものだろう」という問いを立てて調査し、新型コロナウイルスの事例と比較する。天然痘の事例を調査すると、中国や朝鮮半島から日本にもたらされたことや、大航海時代には、欧州からアメリカ大陸にもたらされ大流行したことが分かった。新型コロナウイルスも人の移動が原因で世界に拡大したことから、人の移動を制限することで、感染症を世界で流行させないことができる考える。 ○「感染症の流行を早期に抑え、死者を減らすこと」を解決と捉える場合 過去の感染症の事例では、どのような流行対策をしたか、そしてその結果はどうだったか調査する。天然痘の事例を調査すると、奈良時代の日本では、対策として奈良の大仏を建てたが、人口の25～35%が死亡した。その後は自然免疫の獲得により、それほど大きな流行にはならなかった。天然痘はワクチンの開発によって1980年に撲滅が宣言された。宗教に頼らずワクチンの開発・接種を進めることで、感染症の流行を早期に抑え、死者を減らすことができる考える。	
	○解決と課題をどう捉えるかによって、働かせる歴史的な見方・考え方や追究する事例が異なることを説明する。また、テーマによって、解決と課題のどちらから考えると具体化しやすいかは異なるため、どちらから考えてもよいことを伝える。グループでテーマを具体化し、問いを立てさせる。「どの見方・考え方が使えそう?」、「みんなにとって解決って何かな?」、「何を	

		課題だと考えているの？」などと問いかけ、ファシリテートする。話し合ったことはドキュメントにメモをさせる。	
	例1 物価高騰 ・私たちは物価を下げることを解決だと捉えている。そのため、「過去に物価が下落した事例の原因は何だろう」という問いを立てよう。 ・私たちは物価高騰によって生活が困っていることを課題と捉えている。そのため、「過去に物価が上昇した時代は現在のように生活が困ったのか」と問いを立てよう。		
	例2 核兵器 ・私たちは核兵器が存在していることを課題だと捉えている。そのため、解決策は核兵器の廃絶ということになる。 ・私たちは核兵器の使用の危機が高まっていることを課題だと捉えている。そのため、解決策は核兵器を使用させないことということになる。		
	5. 振り返りを行う。	○ループリックを基に「問いを立てる」の項目について振り返りを行わせる。	◇ループリックの活用に慣れさせるため、振り返りを行う項目も指示する。
2 ・ 3	1. 学習の見通しをもつ。	○本時のめあてを提示する。	
	めあて：計画を立て、テーマについて追究しよう。		
	2. 追究の計画を立てる。	○予定表を配付し、計画の立て方について説明する。予定表を基に学びを自己調整するよう促す。ループリックでもこの予定表を確認しながら確実に活動を進めていくことが求められていることを確認する。単元の終わりまでの授業の予定（日程）にも触れて、追究の見通しをもたせる。計画が立てられたグループから追究させる。ループリックでは追究の方法は複数あるとよいと示されていることを確認する。	◇書籍を活用する時間を確保するために、2・3時間目か、3・4時間目の間に週休日を挟むようにする。書籍の貸し出し簿を作るなどして書籍を管理する。
	3. テーマについて追究する。	○事前1で配付したドキュメントに追究した内容と URL、書籍のタイトル等をメモさせておく。 ○机間指導し、問いに対する適切な情報収集の仕方（インターネットでの情報の検索の仕方や役立つサイト、書籍の選び方、教科書のページなど）を指導する。 ○追究の過程で新たに出てきた問いは時間の許す限り追究できるようにしつつ、テーマから離れないようにサポートする。 ○各時の終わりにまとめとしてグループで追究した内容を交流させる。予定表を基に進捗を確認させる。 ○各時の終わりに、ループリックを基に「予定表の確認と実施」と「さまざまな情報源の利用」の項目について振り返りを行わせる。	◇同じテーマのグループが複数ある場合は交流を行ってもよい。

4 ・ 5	1. 学習の見通しをもつ。		
	めあて：グループで解決策を議論し、スライドやポスター等にまとめよう。		
	2. 発表の方法を選ぶ。	○スライドやポスター発表の例を示し、まとめ方について説明する。また、いずれの発表方法でも発表時間は3分以内、原稿は900字程度とする。ポスターは模造紙かA3用紙一枚とする。	◇各グループがうまく解決策を構想したり、疑問点挙げたりすることができているか机間指導し確認する。
	3. グループで議論する。	○ルーブリック「情報のまとめ」と「問いの解決と課題」について確認し、グループで調査したことを基に議論し、解決策を構想する場面を設定する。調査内容についても「本当にそう言える?」「根拠は?」「なぜ?」「そして?」「じゃあどう考える?」などと問いかけあって、吟味するよう促す。疑問点やさらに知りたいこと、学びたいことも挙げさせる。	
	例1 物価高騰 ・現在の日本はエネルギー価格の上昇によって、物価が高くなっていると分かった。過去にも石油危機の際にはエネルギー価格が上昇し、物価が高くなったが、エネルギー価格の上昇の大きな原因は戦争であることが明らかになった。今後は戦争を起こさないためにはどうしたらよいか考えたい。		
	例2 核兵器 ・核兵器はアメリカで初めて開発され、冷戦期をピークに2割程度まで減ってきた。また、非核兵器地帯や南アフリカの非核化に成功してきた。しかし、核抑止の考え方も根強い。核兵器廃絶のためには、強制力のある国際的なルールが必要だと思う。そのために、私たち一人一人にできることはどのようなことがあるのだろう。		
4. スライドやポスターにまとめる。	○グループの代表者にスライドを作らせ、グループのメンバーと教員に共有させる。あるいはクラスルームに教員がグループ毎のスライドデータを作成し、アップする。発表方法をグループで決めさせ、まとめさせる。 ○まとめ終えたらルーブリックを基に「情報のまとめ」、「スライドやポスターの活用」の項目について、うまくいっているかグループで確認させ、改善を図らせる。		
5. 発表の練習を行う。	○確認が終わったグループから発表の練習をさせる。発表の相互評価シートを示しておき（ルーブリックの「情報のまとめ」、「スライドやポスターの活用」、「伝え方」について相互評価させる）、よりよい発表となるように工夫するよう伝える。		
6. まとめと振り返りを行う。	○4時間目の終わりには、まとめとして予定表を基に進捗を確認させる。 ○各時の終わりに、ルーブリックを基にした振り返りを行わせる。ここでは進度が異なるため、グループ毎にルーブリックの項目を選ばせる。		

6	1. 学習の見通しをもつ。	○本時のめあてを提示する。	
	めあて：追究したことを発表し、交流しよう。		
	2. グループごとに発表する。 発表は3分以内 相互評価1分 質疑応答2分	○発表の相互評価シート（Google forms）に入力することを考えながら聞かせる。相互評価シートは発表後、発表したグループに共有することと、他のグループの発表の内容と仕方をよりよくするためのものであることを伝える。 ○各グループ発表は3分で行う。 ○発表後相互評価シートへの入力は1分で行う。その後、2分間で質疑応答を行う。教師も各グループの学習の過程も踏まえて肯定的なコメントをする。	◇発表や成果物であるスライド、ポスターだけでなく、議論の様子やドキュメントのメモも学習の評価の対象とする。情報収集まではうまくいっていても、まとめがうまくいっていない場合も考えられるため。
	相互評価の視点（ルーブリックより） ・根拠に基づいて論理的に自分たちの意見がまとめられていたか。 ・スライドやポスターは見やすく、わかりやすいものになっていたか。 ・話し方や身振りは興味や関心を引き、説得力があるものになっていたか。		
	質疑応答・コメントの視点 ・発表を聞いて分かったこと。 ・発表者にもっと聞いてみたいこと、もっと知りたいこと。 ・まとめ方や話し方、身振りについて良かったこと。		
7	1. 本時の学習の見通しをもつ。	○本時のめあてを提示する。	
	めあて：学習のまとめと振り返りをしよう。		
	2. グループで相互評価を確認する。	○相互評価の結果を生徒と共有する。クラスルームから自分たちのグループの相互評価シートにアクセスし、相互評価を確認させる。	
	3. 各自、発表について振り返りを行う。	○相互評価を踏まえて、ルーブリックを基に、「情報のまとめ」「スライドやポスターの活用」、「伝え方」、「問いの解決と課題」の項目について振り返りを行わせる。	
	4. 本単元のまとめを行う。	○本単元の学習の過程で困ったこと・難しかったことはどのようなことかグループで考え、発表させる。	
	例1 物価高騰 ・調べていると「円安」や「金融」といった言葉が出てきて、理解することが難しかった。また、歴史的な見方・考え方を働かせて問いを立てることが難しかった。		
例2 核兵器 ・「経済制裁」という言葉の意味が分からなくて困りました。グループで分担して計画的に学習を進めることが大変でした。			
		○本単元の学習の過程で理解することが難しいと感じたことは公民的分野の学習内容であることを、教科書を用いて確認する。具体的に何ページにこう記されているという例を一つ確認	

	5. 本単元の振り返りを行う。	する。歴史的分野の学習だけでなく、公民的分野で学習する概念を用いることでよりよい解決策を考えることができることを確認し、まとめとする。 ○Google Forms で 18 歳意識調査と同様のアンケートを実施し、結果を生徒と共有する。回答の理由も尋ねる。「はい」、「いいえ」の結果よりも回答の理由に着目する。結果を生徒と共有し、国や社会を変えるためには、確かな知識を身に付ける必要があると考えていることや本単元を通した意識の変容を肯定的に評価する。 ・（「はい」の理由）自分のグループの発表の相互評価を見たときに、そのテーマについて「もっとこうしたい」「こうしたらいい」という意見があって、共感してくれる人もいることがわかったので、その人達と協力したら変えることができるのではと思ったから。 ・（「いいえ」の理由）今の自分では社会のことを詳しく知らないなので今の段階では社会を変えることができないと思いました。 ○ループリックを基に、全ての項目について振り返りを行うとともに、振り返りシートに本単元の振り返りを記入させる。 ○夏休みのレポート課題について説明する。	◇これらは研究授業における生徒の実際の回答です。
--	------------------------	---	---------------------------------

(2) ルーブリック・予定表

追究する活動についてのルーブリック（評価表）

プロセス	自己評価の項目	評価（C）	評価（B）	評価（A）	評価（S）
課題の設定	問いを立てる	問いを立てることができなかった。	問いは立てられたが、歴史的な見方・考え方を働かせられず、調べればすぐわかるような問いになってしまった。	歴史的な見方・考え方を働かせ、深く調べなければ解決できないような問いを立てることができた。	自分自身で歴史的な見方・考え方を働かせ、深く調べなければ解決できないような問いを立てることができた。
研究計画の立案	予定表の確認と実施	予定表を確認していなかった。	予定表を確認しながら進めたが、作業が遅れたことがあった。	予定表を確認しながら、作業が遅れないように調整して進めることができた。	予定表を確認しながら、作業が遅れないように調整して進めることができた。予定より早く進められたこともあった。
情報の収集と選択	さまざまな情報源の利用	問いを解決するのに必要な情報を選び取ることができなかった。	問いを解決するのに必要な情報を一つ選び取ることができた。	問いを解決するのに必要な情報を二つ以上選び取ることができたが、一つの情報源（書籍、インターネット、教科書等）からであった。	問いを解決するのに必要な情報を二つ以上選び取ることができ、複数の情報源（書籍、インターネット、教科書等）からであった。
情報のまとめ	情報のまとめ	複数の情報をまとめることはできなかった。	複数の情報をまとめることはできたが、結論を導くことや自分の意見を考えることができなかった。	複数の情報をまとめて結論を導き、根拠に基づいた自分の意見を考えることができた。	複数の情報をまとめて結論を導き、根拠に基づいた自分の意見を考えることができた。主張を裏付けるための根拠として不要あるいは重要ではない情報は選び取らなかった。
発表について	スライドやポスターの活用	文字の大きさや分量、配色などが見にくく伝わりにくい。	文字の大きさや分量、配色などのいずれか一つは見やすいものになるよう工夫できた。	文字の大きさや分量、配色などのいずれか二つ以上は見やすいものになるよう工夫できた。	文字の大きさや分量、配色などのいずれか二つ以上は見やすいものになるよう工夫できた。順序や配置も工夫できた。
	伝え方	話し方が不明瞭で声に抑揚がなく、内容が伝わりにくい。	はっきりと話し、声のトーンには説得力がある。	はっきりと話し、声のトーンには説得力がある。アイコンタクトやジェスチャーも取り入れている。	はっきりと話し、声のトーンには説得力がある。アイコンタクトも一定して行い、興味や関心を引くようなジェスチャーも活用している。

学習活動の評価	問いの解決と課題	問いを解決することができなかったが、反省点や次に取り組みたいことも十分に考えることができた。	問いを解決することができ、理解を深めることができたが、残された課題は何か考えることができなかった。	問いを解決することができ、理解を深めて、今後の課題を考えることができた。	問いを解決することができ、理解を深めることができた。今後の課題や新たな疑問、さらに調べたいことを考えることができた。
	学習過程の評価	ループリックを活用して学習の仕方を振り返ることができず、改善点を考えることができなかった。	ループリックを活用して学習の仕方を振り返り、学習によって身に付いたこと、または改善点を一つ考えることができた。	ループリックを活用して学習の仕方を振り返り、学習によって身に付いたことや改善点を二つ以上考えることができた。	ループリックを活用して学習の仕方を振り返り、学習によって身に付いたことや改善点を二つ以上考え、次の目標を決めることができた。

教科の学習についてのループリック（評価表）

評価 資質・能力	評価（C）		評価（B）	評価（A）
知識・技能				
思考・判断・表現	現代の社会に見られる課題について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、表現していない。	現代の社会に見られる課題について、その課題の形成に関する歴史的経緯や、その結果や影響などに着目したり、現在と過去を関連付けたりして、課題意識をもって多面的・多角的に考察したことを表現している。	現代の社会に見られる課題について、その課題の形成に関する歴史的経緯や、その結果や影響などに着目したり、現在と過去を関連付けたりして、課題意識をもって多面的・多角的に考察したり、その解決に向けて構想したりしたことを表現している。	
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会に見られる課題を、歴史を踏まえて、追究、解決しようとしていない。	現代の社会に見られる課題を、歴史を踏まえて、追究、解決しようとしている。	現代の社会に見られる課題を、歴史を踏まえて、新たな疑問をもったり、ルーブリックや予定表を活用したりしながら主体的に追究、解決しようとしている。	

予定表

日付	時	活動内容	自分がすること
月 日 ()	1	問いを立てる。	
月 日 ()	2	計画を立てる。	
月 日 ()	3		
月 日 ()	課外	情報を収集する。	
月 日 ()	4		
月 日 ()	5		
月 日 ()	6	発表・交流（相互評価）	
月 日 ()	7	まとめ・振り返り	
夏休み	課外	個人レポート	

グループで2～5時の間の計画を立てて、上の表に記入しよう。決めることは次の通りです。

- ・情報収集については、誰が、いつまでに、どのような方法で、何を収集していくのか。
- ・いつグループで集めた情報を交流するのか。また、いつ解決策を議論するのか。
- ・いつからまとめを始め、いつまでにまとめるのか。（まとめの方法と作業分担は議論の後、グループで相談。）
- ・いつ発表の練習をするのか。

計画を立てたら、この予定表をもとに活動を進めよう。グループでの振り返りの時間などに、必要があれば計画を見直して進めていこう。

予定表

日付	時	活動内容	自分がすること
月 日 ()	1	問いを立てる。	
月 日 ()	2	計画を立てる。	日本の奈良時代における天然痘の歴史 ・どのように広まったのだろうか？ ・どのくらいの被害があったのだろうか？ ・どのように対処したのだろうか？ ・その結果はどうだったのだろうか？ 調べ方 ・インターネット ・本
月 日 ()	3	グループで収集した情報を共有する。 ⇒新たな疑問や足りない情報について 分担して収集する。 予定を立て、記入します。	期日を決め、線を引きます。
月 日 ()	課外	情報を収集する。	
月 日 ()	4	解決策を議論する。まとめの方法と分担を決める。	この例は初めの計画を示しています。空欄になっているところに加えて記入していったり、期限を変更したりして、本単元の授業全体を通して活用してください。 初回 鉛筆かシャーペン 2回目 赤ペン 3回目～ 青ペン（なければ他の色） で記入する色を変えてください。
月 日 ()	5		
月 日 ()	6	発表・交流（相互評価）	
月 日 ()	7	まとめ・振り返り	
夏休み	課外	個人レポート	

グループで2～5時の間の計画を立てて、上の表に記入しよう。決めることは次の通りです。

- ・情報収集については、誰が、いつまでに、どのような方法で、何を収集していくのか。
- ・いつグループで集めた情報を交流するのか。また、いつ解決策を議論するのか。
- ・いつからまとめを始め、いつまでにまとめるのか。（まとめの方法と作業分担は議論の後、グループで相談。）
- ・いつ発表の練習をするのか。

計画を立てたら、この予定表をもとに活動を進めよう。グループでの振り返りの時間などに、必要があれば計画を見直して進めていこう。

2 「C近現代の日本と世界(2)現代の日本と世界イ(ウ)」の研究授業の記録
令和6年度教員長期研修で実施した研究授業の記録です。

表1 研究授業実施前の単元の指導計画（事前）

学習内容 (時)	指導上の留意点
1. 事前アンケートに回答する。 (事前)	○事前アンケート項目 (1) 現代の社会に見られる課題について、あなたが興味や関心をもっている順に、次の項目に1～6の順番をつけてください。 【 政治 外交・国際 社会 経済 文化 地域 】 (2) (1) で1をつけた項目に関わって、あなたが興味や関心をもっている現代の社会に見られる課題にはどのようなものがありますか。具体的に記入してください。 (3) (1) の項目に関わるもの以外に、あなたが興味や関心をもっている現代の社会に見られる課題があれば記入してください。 ○事前アンケートの結果から、次のようにテーマの選択肢を設定した。 1組 戦争・核兵器 円安・物価高騰 AI（人口知能） 空き家 増税 2組 戦争・核兵器 円安・物価高騰 選挙妨害 領土問題

○事前の様子等

研究授業では、事前アンケートによって生徒が興味・関心をもっている現代の社会に見られる課題を見取り、テーマの選択肢を設定した。1時間目に、さらにその中から生徒がテーマを選択するというプロセスを踏んだ。研究授業後に生徒に実施した事後アンケートでは、全体の3分の1程度の生徒が「難しかったけど、興味・関心のあるテーマだったから最後まで調べることができた。」「自分の興味・関心のあるテーマだから、知った情報から、また新たな興味が生まれて理解も進むところが良い。」等、このようなテーマ設定のプロセスに対して肯定的に記述していた。

筆者が設定した選択肢の他にも「スマホ依存」や「ジェンダー平等」に最も興味・関心をもっている生徒がそれぞれ一人いたが、夏休みに個人レポートを課すことや、まず探究的な学習に慣れることを優先し、これらは選択肢から除いた。しかし、夏休みの個人レポートのために、これらのテーマに関する書籍も広島県立図書館から借用することにした。

表2 研究授業実施前の単元の指導計画（1～3時間目）

学習内容 (時)	指導上の留意点
1. テーマを選択し、グループを決める。	○18歳意識調査「第46回 -国や社会に対する意識(6カ国調査)-」報告書(日本財団2022)では、「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」という項目の肯定的回答の割合が26.9%と低いことを紹介し、学習への意欲を高める。 ○テーマを選ばせ、2～4名のグループを作らせる。 ○ルーブリックを配付し、各自確認しながら学習させる。
2. 問いを立てる。	○問いを立てるためにテーマについて情報収集させる。 ○机間指導し、グループ毎にうまくテーマを具体化し、問いを立てられるようサポートする。

3. 計画を立て、追究する。 (1・2・3)	○今後の授業の予定を確認し、グループで計画を立てさせ、各自予定表を作成させる。予定表を確認しながら学習を進めるよう指示する。 ○予定表を作成したグループから追究を始める。
---------------------------	--

○1 時間目（7月2日（火））の様子等

18 歳意識調査の結果を用いた導入では、生徒は日本の若者の意識に危機感を感じて学習への意欲が高まっている様子であった。

可能な限り探究的な学習の過程を生徒に委ねたいと考えていたが、1 クラス目は歴史的な見方・考え方を働かせることができず、ほとんどのグループが問いをうまく立てることができていなかった。そこで、歴史的な見方・考え方とそれらを働かせた問いの例として、次の三つの問いを学級全体に提示することにした。2クラス目は授業の冒頭でこれらを提示した。また、感染症を例に、具体的な問いの例を示した。

○その課題は歴史のどこに原因があるのだろう。

○同様の課題が見られたとき、歴史の中ではどのような解決策がとられたのだろう。そして、その結果はどうなったのだろう。

○課題の解決に向けて、歴史から学ぶことはどのようなことなのだろう。

この工夫によって、消費税をテーマとしたグループでは「過去になぜ消費税を引き上げたのか。」や「引上げによってどうなったのか。」、物価高騰をテーマとしたグループでは「過去の物価高騰はなぜ起こったのか。」などのように、社会的事象の因果関係（原因）を捉えようとしたり、過去の消費増税や物価高騰といった社会的事象と現在起こっている社会的事象との類似や差異を明確にしようとしたりするなど歴史的な見方・考え方を働かせる問いを立てることができた。それらのグループが4・5時間目に作成したまとめスライドの一部である次の図1～3をご覧ください。

3. 調査内容 ・過去になぜ消費税を上げたのか？ ・引上げによってどうなったのか？ (1)消費税3%導入（1989） 当時はバブル景気だった、なのであまり影響はなかった。 しかし、不動産融資総量規制や公定歩合の引き上げによりバブル崩壊 ○財政赤字・高齢化が進むなどして消費税の引上げ	・ 調査内容 過去の物価高騰はなぜ起こったのか？ 米騒動 オイルショック ロシアによるウクライナ侵攻	・ 共通点 外国で起こったことが日本の物価高に関係している。 戦争が関係している
図 1 消費税をテーマとしたグループの まとめスライドの一部	図 2 物価高騰をテーマとしたグループ のまとめスライドの一部	図 3 物価高騰をテーマとしたグループ のまとめスライドの一部

まとめスライドの一部

このことから、見方・考え方を働かせられるようにするためには生徒が見方・考え方がどのようなものか理解しておく必要があり、各分野の見方・考え方を生徒に理解させ、生徒が自覚的に見方・考え方を働かせることができるようにしておく必要があると考える。そのために日頃の授業から、各分野の見方・考え方を働かせて問いを立てる場面を設定したり、各分野の始めや学習の過程で継続的に、生徒にとって分かりやすい表現で見方・考え方を提示して三年間指導し続けたりする必要があると考える。

生徒たちは問いを立てることに苦労しながらも、次のような会話が見られるなど粘り強く学習に取り組もうとしており、生徒の課題意識に基づいて学習課題を設定したり、18 歳意識調査の結果を用いて導入の工夫を行ったりしたことが効果的だったのではないかと考えられる。

生徒A：「これでいんじゃない？」

生徒B：「いや、今日は問いに集中しよう。」

生徒A：「難しいなー。」

授業後、次時の支援を考える際に各グループの学習の記録があるとよいと気が付いた。情報収集や話し合いの記録をさせるドキュメントのデータを用意し、教師と共有しておくことよい。授業と授業の間にアドバイスを入力しておくこともできる。グループに欠席者がいる場合にも役に立つ。

○2時間目（7月5日（金））の様子等

1時間目の終了時点で、戦争や核兵器などのテーマが大きすぎるグループは問いを立てることが困難であったため、テーマを具体化するために、グループでテーマについて「何を課題だと捉えるか。」「何を解決だと捉えるか。」を明確にするよう学級全体に促した。事前に各グループのテーマに関して「何を課題だと捉えるか。」「何を解決だと捉えるか。」のパターンを想定しておき、机間指導では、グループでの思考が停滞するタイミングで、「どの見方・考え方を働かせれば解決策を考えられそうかな。」や「みんなにとって何が課題で、何が解決なのかな。」等と問いかけ、論点を絞ることができるようサポートした。特に困難なグループには具体的にこのように歴史的な見方・考え方を働かせて問いを立ててはどうか等の提案を行い、追究の見通しが立ったグループから計画を立て、予定表を作成させた。

また、本校の社会科の授業ではルーブリックを活用した授業は初めてであるため、学習の過程が進むごとにルーブリックを学級全体で確認し、意識させるようにした。

追究の場面では、「「選挙妨害」と「選挙干渉」って何が違うの？」、「金融」って何？」等、言葉の意味を正確に確かめようとする生徒の姿や、経済や国際社会に関する知識や概念を理解するのに苦労する生徒の姿が見られた。探究的な学習であることから、生徒が教師に説明を求めた時にはできる限り説明せず、教科書の該当ページを示したり、検索する方法を示したりするに止めた。また、教科書やインターネットだけでなく、書籍を活用したグループや、下のようにインタビューを用いたグループもあった。書籍の活用については、多くのグループが手に取っていたものの、そこから必要な情報を収集することができたのは11グループ中4グループに止まっており、日々書籍を活用する場面を設定し、有用性を実感させるとともに書籍を活用する力を身に付けさせる必要があると考える。

生徒C：「私は消費税が3%から5%になった時のこと親に聞いてみる。」

生徒D：「僕は初めから10%だったら受け入れられたか聞いてみるよ。」

情報収集を進めるうちに、収集した情報を根拠にして解決策を考えようとするのではなく、すでに社会で実践されている解決策を調べようとするグループが多く見られるようになり、単なる調べ学習になってしまっていた。この背景には、収集した情報を整理し、考察を深めることを通じて答えを紡ぎ出すという探究的な学習が不十分であるため、生徒が答えは教師が教えてくれる、あるいは、調べれば見つかるという学習観に縛られてしまっていることと、筆者の指示の際、「追究する」、「調べる」、「情報を集める」等、類似する言葉を使ってしまい意図が十分に伝わっていないからであると考え、探究的な学習の考え方や意義について、次時、生徒に伝えることにした。

○3時間目（7月9日（火））の様子等

2時間目までの生徒の状態を踏まえて、グループで意見を練り上げ解決策を構想し、疑問点やさらに知りたいことを整理することが困難であると考えた。そのため、情報収集終了後にグループで調査内容や解決策について吟味し議論する場面を設定するとともに、議論する際には、「本当にそう言えるか。」「根拠は何か。」「なぜか。」「そしてどうなったか。」「どう考えるか。」等と問い合うよう指導した。しかし、生徒には議論の時間を設定する

という見通しがなかったため、3時間目はほぼ情報収集の時間となった。やはり学習の見通しをもつことが非常に重要であることが示唆された。

グループによって大きく進度に差が生じたため、進度の早いグループには個別に発問をし、学習が深まるようにした。「核兵器を使用しないようにするにはどうしたらよいのだろう。」という問いを立てたグループは、情報収集の過程で核兵器の危険性に気が付き、廃絶するしかないという結論にたどり着いていた。そこで、なぜ廃絶できていないのだろうと発問した。追加で集めた情報は必ずしもまとめに入れなくてもよいということにした。

表3 研究授業実施前の単元の指導計画（4・5時間目）

学習内容 (時)	指導上の留意点
1. スライド やポスターにまとめる。 (4・5)	○スライドやポスターの例を示し、発表方法を選択させる。 ○スライドやポスターにまとめさせる。 ○発表の役割分担を確認させ、発表の練習をさせる。発表の際には、ループリックを基にまとめ方や伝え方について相互評価することを確認する。

○4・5時間目（7月11日（木））の様子等

多くのグループが4時間目の始めに議論を始めた。「戦争はどのようにしたら終結させられるのだろう。」という問いを立てたグループの場合は、過去の戦争が終結したとき、どのようなことが起こっていたのか詳細に調べようとしていたが、インターネットでは自分たちが求めているような詳しい情報は出ず、どのようにまとめればよいか悩んでいた。また、物価高騰をテーマにしたグループは、物価高騰はいろいろな原因がからみあっていて解決策が見えないと悩んでいた。これらも探究的な学習の充実が不十分であるからと考え、「この方法で調べたが情報が見つからなかった。」「このようなことは分かったが、このようなことはまだ分からない。」あるいは、「このようなさまざまな原因が分かり、それらのうち、この原因についてはこうすれば解決できるのではないかと考えた。」というような場合も、それが探究的な学習の成果であると伝えた。また、話合いの進捗がうまくいかない等、話合い活動の仕方について課題が見られるグループもあったため、話合い活動を充実させていく必要があると考える。

まとめの活動では、次のような生徒の会話が見られ、主体的に学んでいることが見て取れた。

生徒A：「表にしたらどう？」

生徒B：「いいね。どうやるん？」

生徒C：「表の作り方分かるよ。教えようか？」

生徒D：「空き家が増える原因は、こう（次のスライドを示すジェスチャーをしながら）！結局人口の問題！だからどうやって人口を増やすかを今の岸田政権の政策と過去を比較して…」

生徒E：「あんまり情報が多いとちょっと…」

また、議論の結果、下の図4～6のように、生徒は収集した情報を根拠にして解決策を考えた。これらの解決策は公民的分野の学習を経て修正されていくものであり、歴史的な見方・考え方だけでなく、現代社会の見方・考え方を働かせることでよりよく構想することができるという好事例であると考え。このような事例を後に続く公民的分野の学習に生かし、歴史的分野と公民的分野を関連付けて指導していくことが大切であると考え。

また、生徒は明らかでない部分については今後追究したい課題として整理することができた。

解決策 選挙妨害を起こさないようにするには、より良い世の中に変えていくことができる公約でない限り立候補出来ないなどといったルールを作る。 また、選挙妨害が起きてしまった場合は早急に取り締まる部署をつくり、他の立候補者に支障が出ないように対策をとる。	・結果 解決策 戦争のない世の中をつくる。 新たな疑問 どうすれば戦争のない世の中を作る ことができるのか	円安の解決策 ・全世界共通通貨にする ・全世界の通貨や物品の 価値を同じにする
図4 選挙妨害をテーマとしたグループ のまとめスライドの一部	図5 物価高騰をテーマとしたグループ のまとめスライドの一部	図6 円安をテーマとしたグループのま とめスライドの一部

まとめスライドの一部

一方で、欠席者が多かった（両クラス合わせて12人）こともあり、ほとんどのグループがまとめの完成に至らず、放課後や次の日の朝の時間を使って完成させることになったため、次時発表練習の時間を取ることにした。研究授業では2日続けての授業であったが、まとめの授業から発表の授業までは数日間が空くとよいと感じた。

表4 研究授業実施前の単元の指導計画（6・7時間目）

学習内容 (時)	指導上の留意点
1. 発表し、 交流する。 (6)	○発表時間3分以内、質疑応答・感想等3分以内を目安に発表させ、交流する。 ○まとめ方、伝え方、内容について良かった点や疑問点を考えながら聞かせ、Google formsで相互評価させる。 ○質疑応答・感想等では、学習の過程も踏まえ、各グループに肯定的な評価と改善点を伝える。
1. 学習のま とめと振 り返りを行 う。(7)	○相互評価シート（Google forms）を生徒と共有し、グループで相互評価の結果を確認させる。 ○各自発表の振り返りを行わせる。 ○「今回の歴史的分野の学習を踏まえて考えた現代の社会に見られる課題の解決策は本当によい解決策といえるだろうか。」と発問し、よりよい解決策を考えるためには、公民的分野で学習する現代社会の見方・考え方を働かせることが必要であることに気付かせる。 ○18歳意識調査と同様の質問に回答させ、その理由も回答させる。生徒に結果を示し、本単元の学習を通して、国や社会を変えていくためには、国や社会についてより理解を深めていく必要があるという考えという意見を紹介する。 ○各自本単元の学習についての振り返りを行わせる。

○6時間目（7月12日（金））の様子等

本時の流れを説明し、発表練習の時間を5分程度確保して、発表に移った。発表の際、あるグループのスライドのページのデータが消えてしまうというアクシデントがあったが、発表担当の生徒は原稿もスライドもなしで石油危機の原因と影響、日本が行った対策について、淀みなく、分かりやすく説明をした。研究授業後の記述形式のアンケート（本書 pp.18-21）では、この生徒を含めて全体の3分の1程度の生徒が従来の授業よりも「理解が進む」や「頭に残る」などと記述しており、学習者の課題意識に基づく学習が高い学習効果をもつことが示唆された。また、テーマに対する考え方が大きく変わったり、解決策を考えていくと別のグループのテーマに行き着き、社会の複雑さに気が付いたりする生徒の姿が見られた。質疑応答、感想等では、歴史的な見方・考え方やルーブリックを基にしたコメントをする生徒も多くいた。

一方で、多くのグループが3分の発表時間に収まらなかった。発表時間を示すだけでなく、原稿の文字数の目

安を示すなどの事前指導が必要だと考える。また、いくつかのグループが事前の机間指導でまとめの見通しをもっていることを確認していたにも関わらず、うまくまとめられていなかったという課題が見られた。これは、先述したように前時に欠席が多かったことや、まとめが授業時間内に終わらなかったこと等から、まとめに関してグループでうまくコミュニケーションを図ることができなかったためであると考えられる。まとめとしてスライドやポスターが完成した後にグループでチェックし、改善する時間を確保することが大切であると考ええる。また、成果物のみで評定のための評価をすると実態にそぐわない場合があることが示唆された。

ループリック（本書 p.10）に示した思考・判断・表現の観点の評価基準で成果物のスライドと学習の経過を評価したところ 11 グループのうち4グループがB評価、7グループがA評価であり、研究授業が本単元における思考力、判断力、表現力等の育成という点においても効果的であったと考えられる。

〇7時間目（7月12日（金））の様子等

相互評価シート（Google forms）を生徒と共有し、グループで相互評価の結果を確認させた。それを踏まえて各自発表の振り返りを行わせたところ、次のような記述や発言が見られ、高い意識をもち、よりよい発表を目指す生徒の姿や相互に学び合う生徒の姿が見られた。

発表の振り返りの記述

- ・ S（最もよい評価）がいっぱいでもまだやりきれてない感じがする。
- ・ 情報のまとめについては多くの人が評価してくれていたけど、個人的にはしゃべり方、ジャスチャー、時間配分が全然できてなかった。
- ・ もっとこうした方がいいと書いてくれていた人もいたので、次の機会にはそのことを意識してやりたい。
- ・ 他のグループの発表を見て、もっとグラフや図、表を使えばよかったと思った。

先述のように、生徒は追究の過程で「円安」、「金融」、「経済制裁」等、経済や国際社会に関する知識や概念を理解することに困難さを抱え、これらを理解しなければ解決策を構想することができないことに気が付いていた。そこで、7時間目に追究の過程で困ったことや難しかったことをグループで考えて発表させることにした。生徒からは問いを立てること等、探究的な学習に関わることや経済や国際社会に関する知識や概念が挙げられた。経済や国際社会に関する知識や概念についてはどのようなことか理解できたか質問すると自分なりの言葉で説明しており、生徒は教師が教えなくても学ぶのだと実感させられた。

追究する際に理解することが難しかった経済や国際社会に関する知識・概念は公民的分野の学習内容であることを公民的分野の教科書の目次を用いて確認することで、公民的分野の学習の必要性に気付くことができるようにした。授業を振り返ると、一つ具体的な教科書の記述を確認するとより効果的だったのではないかと考える。

授業後、教室では男子生徒たちが肩を組み合って、「結局経済制裁ってなんやー？」「じゃけえ、何かの時に罰を下すんよ。」等と会話をしていた。筆者はこれまで、このように授業が終わってもなお生徒が自分たちで学び続けようとする姿は見たことがなかった。3時間目の授業の終了後の生徒との会話では、生徒は従来の授業について「ただ座っていればいい。」「聞いて書くだけ。」と語ってくれたのだが、それとは対照的な姿である。

単元のまとめとして18歳意識調査と同様の質問に回答させ、その理由も回答させた。その結果は次の通りである。18歳意識調査で見取られているような社会的自己有用感は生徒の様々な経験から形成されるものであると考えられるため（実際に様々な回答理由が挙げられた）、理由については研究授業での学びを基に記述したと考えられるもののみ掲載することにした。

18歳意識調査と同様の質問項目「自分の行動で、国や社会を変えられると思う」への回答とその理由（36人回答）

〇はい（80.4%）

- ・ 大きく国や社会を動かす事は難しいけど歴史や現在を知っていくだけでも力になる。
- ・ 一人ひとりが課題について知り、解決策を持っていれば、少しずつでも良い方向に進んでいくと思うから。

- ・自分が歴史や戦争を知ることによって身近なひとから伝えていけば国、社会は変わっていくと思ったから。
- ・自分のグループの相互評価を見たときに、そのテーマについて「もっとこうしたい」「こうしたらいい」という意見があって、共感してくれる人もいたことがわかったので、その人達と協力したら変えることができるのではと思ったから。

〇いいえ (19.6%)

- ・今の自分では社会のことを詳しく知らないのでも今の段階では社会を変えることができないと思いました。
- ・自分だけの行動だけでは何も変わらない、変えていくことは難しいと感じたから。

本単元の振り返りには下のような記述が見られた。「いつかはよりよい世界にしようと思える自分になりたい」という意識こそ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度であり、なおかつ社会科の目標である公民としての資質・能力の基礎に繋がるものであり、私たち社会科教員が育てたい子供の姿ではないかと考える。以上のような生徒の姿から、研究授業は筆者にとって、中学校社会科が研究論文 p.3 の表3 のような構造になっていることや、今日、学習者の課題意識に基づく学習が求められていることを改めて真剣に受け止め、自身の生徒観、授業観、教育観を見直す機会となった。

単元の振り返りの記述

- ・今の自分には社会を変えるほどの実力がなくて実感できたが、いつかはよりよい世界にしようと思える自分になりたいです。(18 意識調査と同様の質問項目に「いいえ」と回答し、その理由として「今の自分では社会のことを詳しく知らないのでも今の段階では社会を変えることができないと思いました。」と記述していた生徒の記述。)
- ・(18 歳意識調査と同様の質問項目に)「いいえ」と答えた人の、今の何も情報を知らない、理解していない状態では変えられないから勉強する必要があるという答えに確かと思った。
- ・研究授業のような授業はこんなに面白いのかと思った。
(本書のタイトルになった、従来の授業を「正直まじでつまらない」授業だと感じていた生徒の記述)
- ・計画的に行動し、みんなで役割をふりわけて物事を進めることの大切さを知りました。探究活動において、調べる一方ではなく、自分がどう思うかについて考え、交流することもしなければいけないことが分かりました。
- ・歴史の中に解決のヒントはあり、それを基にどうすべきなのかを考えていくと、その課題を解決する方法が見つかるということが分かった。

最後に、研究授業実施後に行った生徒アンケートの質問項目と回答の結果は次の通りである。回答を得られた30人全員の回答を記載した。なお、誤字や脱字、表現が分かりにくいものについては修正を加えた。

質問項目①

今回の研究授業のように自分の興味・関心に基づいてテーマを選び、問いを立てて学習課題を設定したり、自分でその学習課題をどのような方法で学ぶか決めたりして追究する授業は、先生が説明したり、先生が用意した方法で学んだりするのが中心の社会科の学習と比べて、どのような点が良かったと感じましたか。また、どのような点が良くなかったと感じましたか。

- ・自分が知らなかった経済の仕組みや言葉の意味などを理解することができたのが良かったです。意見を交流して違った意見や考え方を知ることができたのもいい経験になったなと思いました。
- ・授業では難しい言葉でもすぐに教えてくれるので今回の自分たちの探究では一から調べるのでとても大変だったけど意味を授業より深く知れました。
- ・自分たちで課題を考え、その課題の原因や解決策を班の人やインターネットを使い詳しく調査できた。自分たちですることによってコミュニケーション能力が高まったり、探究心が向上したりしたことを実感したから、研究授業をもっと取り入れるべきだと思った。
- ・自分たちで知りたいテーマを調べていくのでより頭に入ってきたり、考えられたりするところがいいと思います。また、一から調べていくのに時間がかかり効率が少し悪いなと思うところがありました。
- ・私は、授業を通してグループのみんなと話し合い調べたことを言い合うことでいろいろな意見が聞けて良かったと思う。みんなと話し合い意見をまとめたりするところが良かったと思った。

- ・今までは、先生の説明などを聞いて理解しているだけだったけど今回の授業では自分たちで考えたり理解したりすることで追究する力がつきました。
- ・自分で考えることによりいつもより考えるようになった。例えば、ここはどうやったら結論にたどり着けるだろうと思ったり、なんでこういった事になったのかなど色々考えられたりした。
- ・生徒それぞれが問題に対しどうしたらよいのだろうかというのを歴史から比較・推移から調べることで探究の力がつくのは良いと思った。しかし、答えが不確かなものや価値観の違いからわからないものが多く本当の解決とは何なのか考えるのが難しかった。
- ・先生が、困ったときにサポートをしてくれるのはいいと思った。ただ、今まで探究をしたことないときに始めてしまったから難しかった。
- ・自分でしっかりと考えたり調べたりすることが多いから、自然と内容が頭に入ってくることと、みんなで役割分担をして計画をたてることは将来にも役立つと思うからいい点だと思った。悪い点は、どうしても難しい内容が多く、言葉も難しいから理解するのが難しいことだと思った。
- ・自分たちでテーマを選んで問題や原因について考えたり問題を解決するためにどうすればいいのかをグループで考えたり自分たちで調べたりすることがいいなと思った。そして問題を解決するために自分にできることはないか考えることができたから良かった。
- ・これまでの授業はただだずっと先生の話聞いて正直まじでつまらなかったです。でも今回の授業を受けて、自分の考えをまとめて、自分の意見を発表できたことが面白かったです。
- ・選んだテーマに着目して考え、問題点や疑問点を調べたり聞き取りを行ったりすることでテーマについて今後どのように行動すればよいか考えられたのが今回の学習のいい点だと思います。
- ・社会の問題に全く関心を持っていなかったから、この授業をすることで社会問題についてよく知ることが出来たのは良かったと思う。でもとても難しかったです。
- ・自分たちが主体となって授業を行うことで頭により強く印象が残るのがいいところだなと思いました。知らないことでも自分たちの力だけで少なからず解決できるといった点も良いところだなと思いました。
- ・私は社会が苦手だけど、今回の学習は自分たちだけで問いから解決策まで調べてみて、歴史から学ぶことも多く、頭に入りやすく楽しく学べたのが良かったです。
- ・自分たちが調べたいことを探求できてとてもいい授業だと思いました。とても難しくて脳にとっても負荷がかかったところや、先生からのアドバイスもあるけど第一に自分たちで考えて学習することが大半だったところがいいところだと思います。
- ・自分の好きなように調べて、自分の興味のあることを中心に知れるので面白い上に楽しかった点。自分の好きなことを調べると熱中することができて効率がいい点。
- ・自分で考えて調べてまとめることで分からないところも分かるようになるし、自分で問いを立てて考えるのでとても難しかったけど面白かった(もうやりたくないです)。
- ・普段の社会の授業では聞いて書くだけだけれど、今回の学習では自分で考えてそれをグループのメンバーで話し合うことで理解を深めたので楽しかったです。
- ・自分たちで調べることで理解を深められ頭に残ったので良かった。自分たちで課題を考え学ぶことで友だちの意見をいつもより知れていいと思った。
- ・自分の興味・関心のあるテーマだから知りたい情報からまた新たな興味が生まれて理解もすすむ。それによって自分なりにうまくまとめる力がつくと思った。
- ・良いと思ったことは、自分が調べるテーマに対して全くわからないから、一から何を問いとして、何を根拠にするのかなど、先生に頼らず自分なりに調べることができるということです。良くないことは、どこから始めればよいのかわからないことです。

- ・自分たちで課題について主体的に調べたり過去の事例と比較できないか考えたりすることができたことが良かった。問題を調べることを通して自分の考えが偏ってしまう（テーマについて特定の立場からの意見ばかりを集めてしまったことがあった）ことがあったり問いや解決策を考えたりすることが難しかった。
- ・探究の仕方が全くわからなかったけど、先生が立てた道筋を通りどういう事をやっていくのかを話をしてから生徒がグループで考えて、迷ったりした時に先生が寄り添って進めていたのでどのようにやっていくのかを知り自分自身でできるようになったのでそこが良かったなと思いました。
- ・問いを立ててから追究までするのはこれまでにすることがなくて難しかったけど、グループで考えると、一人ですのよりもいろいろな視点から考えが出てきたので良かったです。
- ・今までは、先生が全部教えていて自分等が考えてまとめたりしていなかったから今回は課題をみんなで見つけたり、まとめたりすることが出来たから良いと思いました。
- ・先生が説明するような授業だと、ただ単に説明を聞くだけになって集中が続かない人が出てくるけど、今回のように自分たちで調べてみると新しい発見ができたり、理解を深めたりすることができたので良かった。でも、自分で問いを立てたりするのが難しかった。
- ・自分たちで調べたり考えたりして頭に残りやすいし友達と協力していろいろな考えや新しい発見などが得られた。
- ・自分で調べたりすることでより記憶に定着しやすくなるし、単純に面白い。自主性が発展すると思う。

質問項目②

今回の研究授業のように自分の興味・関心に基づいてテーマを選び、問いを立てて学習課題を設定したり、自分でその学習課題をどのような方法で学ぶか決めたりして追究する授業についての感想を自由に記述してください。

- ・探究活動は難しかったけれど、計画を立ててそれに沿った行動をし、役割を分担するところまですることの大切さを知ることができたので、自分的には良い探究活動だったなと思いました。
- ・探究することは今までしたことがなかったので友達と意見交流やぶつかり合いが多くても自分が調べたいと思える内容を調べることができるのでたまにこういう経験をするのはいいと思いました。
- ・今回の研究授業を通して、自分たちで問いを立てたり解決策や原因を調べたり考えたりするのは、とても難しかったけど、探究心の向上、人とのコミュニケーション能力が高まって自分のためになったと思う。
- ・あまり授業には参加できなかったものの、課題に対して現代と昔を比べて解決策を考えるということを普段の授業ではあまりしないので、新鮮な気持ちで臨むことが出来ました。
- ・課題の原因について調べ、言葉の意味を理解することが難しかったです。けど、知らない言葉ばかりで知らなかったことを知れたことは良かったと思いました。みんなで、調べたり話し合ったりすることが難しかったけど楽しかったです。
- ・班のみんなと考えたり、意見を交流したりしてすごく楽しかったです。他の班の発表もすごく興味をそそられて面白かったです。
- ・とても楽しかったです。理由は班のみんなと一緒に考えたり調べたりしていろいろ模索してやったりしたのがとても楽しかったです。
- ・将来、探究の力がないと生きていけないような世界でその練習となるから良いと思った。
- ・初めてのことに挑戦するから情報収集・まとめなどが難しかった。
- ・最初はテーマ設定とか難しかったけど、進んでいくとちょっとずつ絞れていけたりして、調べたりすることがわかってきてスムーズに進めて行けて、やりやすくなっていった。
- ・テーマが意外と広くて具体化するのが難しかったけど、興味関心のあるテーマだったから最後まで調べることができた。
- ・今まで自分で計画をたてたり具体的に問いを考えたりすることがあまりなかったから難しかったけど、これからこういう授業を何回かやっていけば慣れていって、もっと楽しく感じられるようになると思った。

- ・最初はグループのみんなで問題や原因を考えたり調べたりすることがとても難しかった。そして難しい単語があって調べることも難しかった。でも今の社会の状況などを知ることができて良かった。
- ・自分の意見や友だちの意見をより深められるし、何よりみんなこの授業スタイルのほうがみんなも楽しいから、この授業スタイルがいいです。
- ・増税に関して知っていることもあれば、分からないところや初めてわかった所も出てきてこれから税に関して考えることができました。
- ・最初は円安ってなんだろうから始まって調べるにつれ、徐々に円安について理解することができた。円安問題の解決策を見つけることは難しかったけど、グループのみんなで意見を出してたどり着くことができた。
- ・物事の進め方を自分とまたチームの人と考えることで計画能力が身についたんじゃないかなと思いました。このような授業で学べたことが多かったのでまたやってみたいです。
- ・思っていたよりも、歴史から学ぶことが多く、過去の出来事をもとに物価高騰が学べて難しかったことが多かったけど、いろんなことが学べて楽しかったです。
- ・こういう授業はあまりやったことがなくて最初はとても難しかったけど同じグループの仲間や先生に手伝ってもらいながらやると難しいという気持ちから、楽しいやもっと知りたいという気持ちになったのでとても良かったです。
- ・自分の興味があるテーマで調べることは、集中できるので努力することができて面白かった。もっと深く調べてみたいというさらなる興味が湧いた。
- ・課題も簡単すぎても難しすぎてもいけないので、立てるのが難しくて人数も少なく調べるが多くなって大変だった。
- ・「円安」は簡単に解決できると思っていました。しかし実際に調べてみるとたくさんの課題が見つかったり、今まで解決することができなかった現実について分かったりしました。なのでニュースなどを詳しく見るなどの工夫をしました。
- ・友だちと基本的にともに学ぶので友だちとの仲を深められてよかったです。自分たちの知りたいことをするので一人一人のやる気もでると思うのでいいと思った。
- ・個人作業ではなかったからそれぞれが自分の調べることを理解しないと成り立たなかった。今度するときはリーダーなどを先に決めてからやりたい。
- ・いつもの授業と比べてとてもおもしろかったので普段からこのような授業がしたいと思った。
- ・私は核兵器について興味を持ち、今では核兵器についてたくさん知る事ができたとし、他のグループの発表も聞けるので、さまざまな世界の問題についても知ることができたので、今後の授業でもこのような活動をしたいです。今度は、個人活動をしたいです。
- ・自分が以前から解決するべきだと考えていた内容だったけれど、歴史的な面で見えてみると自分の知らないことがたくさんあってとても興味深かった。班で分担して問題の現状や解決への取組などを詳しく調べてまとめていくことで自分たちにできることなどをこれから取り組んでいきたいと改めて感じた。
- ・最初に探究をすると聞いて難しく、漠然としていたけど、ただ自分の気になった事について課題やゴールを決めて詳しく深めて問いについて追究をしていく事だったので、自分の思った事をしていくだけなので難しかったですが、知識や考えが深まったので楽しかったです。
- ・これまでは問いが立っており、そこから結論をだすことをしていたけれど今回は問いから追究まで自分たちでしたから、時間は足りなくて難しかったけれど、これまでになかったことなので面白くて、退屈しなかったです。
- ・自分は、戦争について考えたりまとめたりしていったけど、知りたい内容があまり書かれていなかったからすごく難しかったけどメンバーのみんなでまとめることが出来たので良かったです。
- ・自分で気になっている世の中の話題や調べたいことを自分で決めて学習すると、自分の興味がある話題なので、調べるのがすこし楽しかった。その一方で、自分たちでほとんどのことを決めないといけなかったのも、そこは大変だった。